

## 第6次調査の概要

### どこを（調査場所）



赤線は平成23(2011)年3月8日に国指定された範囲

### いつ（調査期間）

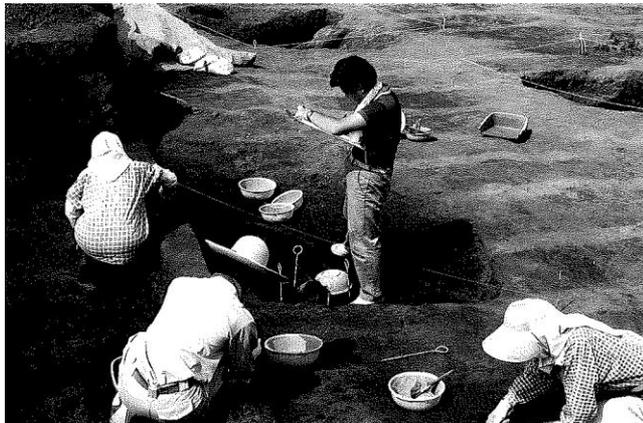
平成3(1991)年8月19日～9月7日

### だれが（調査した人）

赤坂遺跡調査団

### 調査概要

- 所在地 神奈川県三浦市初声町三戸字ハタ319番1、285番
- 調査面積 A地点 375m<sup>2</sup> B地点 52m<sup>2</sup>
- 調査原因 A地点 深耕事業(天地返し)に伴う遺構の残存状況の把握  
B地点 農地造成に伴う
- 主な遺構 A地点 住居址3軒
- 主な遺物 A地点 弥生土器・石英製の細石核・石斧・石皿・磨石・砥石・イノシシの歯・鹿角片
- 特記事項 A地点より長軸14m短軸12.5mと推定される大型住居址が検出され、柱穴は長軸3.7m、短軸2.1m深さ約1.5mに達する。弥生時代中期宮ノ台期の住居址と思われる。昭和52年の1次調査で検出された大型住居址に次ぐもので、僅か50mの距離に位置する。なお、B地点はトレンチによる試掘調査である。  
(参考文献：『三浦市埋蔵文化財調査報告書第3集・1994年8月』)



A地点調査風景(所蔵：三浦市教育委員会)



B地点調査風景(所蔵：三浦市教育委員会)



**周溝と柱穴が2穴が確認できる住居址  
(所蔵：三浦市教育委員会)**



**柱穴の大きさから第1次調査で検出され  
た大型住居址に次ぐものと推定される  
(所蔵：三浦市教育委員会)**